



「小さな声を大切に」1人に寄り添える心の通ったまちづくり

かわだ和美 通信

大和郡山市議会議員

河田 和美

千日町 20-6

TEL/FAX 55-5531



Vol 7
2021

12 月定例会 「行政手続きのデジタル化について」「切れ目のない子育て支援について」(要旨)

質問

行政のデジタル化について、本市の現状と今後の方針をお聞かせ下さい。

答弁

現在、図書の貸し出し予約、総合公園と九条スポーツセンターの施設予約、水道の開栓・閉栓届、マイナポータルを利用した児童手当に関する諸手続のオンライン申請等が可能です。

6月 今後は窓口での申請手続きのオンライン化、スマホの電子決済を利用した公金収納サービス、市が管理する地図情報をネット上に公開するGISの導入を予定しています。

質問

児童手当のオンライン申請が可能とのことですが、利用状況と今後についてお聞かせ下さい。

答弁

オンラインにより申請された実績はないのが現状です。マイナポータルの利用に関する案内につきましては市のホームページ上で公開しておりますが、今後は児童手当の申請手続きの時期に、オンライン申請も可能であることを、広報紙「つながり」への掲載や申請書類に同封するなど周知に務めて参ります。

質問

高齢者やIT弱者の方への取り組みとして、デジタル活用支援員制度や遠隔手話通訳派遣システムというサービスがあります。本市で利用するお考えはありますか。

答弁

遠隔手話通訳サービスにつきましては、現在のコロナ禍においても大変有用なツールであると認識しています。またデジタル活用支援員制度につきましても、高齢者などデジタルに不慣れな方に慣れ親しんでいただくところから始め、情報格差解消の一助になる取り組みと考えておりますので、担当部署と協議し調査研究を進めて参ります。

質問

現在本市で実施されている、産後ケアについてお聞かせ下さい。

答弁

平成30年10月より、4ヶ月未満の赤ちゃんと母親の方を対象に、大和郡山病院と高井病院において日帰り型のデイサービスを実施しています。育児疲れや不安があり、家族のサポートが受けられない母親の方にご利用いただいています。

質問

産後、実際にケアを受けたいが、出向くのが大変という方も多いと思います。そういった方の支援として「産後ドゥーラ」があります。その費用を助成している自治体もあります。このような家事支援サービスも必要だと思いますが、お考えをお聞かせ下さい。

答弁

来年(令和3年)4月に母子保健法の一部が改正され、産後ケア事業の対象者が拡大されることから、乳児検診に来られる母親の方を対象にアンケートを実施しニーズ調査を行う予定です。その結果も参考にしながら、今後のサービスの充実につなげていきたいと考えております。

質問

新生児の聴覚検査について、県内の自治体でも費用の一部を公費助成しているところもあるようです。本市でも今後助成を検討していただきたいのですがお考えをお聞かせ下さい。

答弁

ご質問の新生児聴覚検査につきましては、出生後入院中に実施されているものです。この費用の一部助成については、今後近隣自治体の実施状況等もみながら調査研究して参ります。

※詳細はインターネット中継をご覧ください

→ [こちら](#)



書籍消毒機が新設!

昨年6月に、コロナ対策の緊急要望書で提案したものです。
11月11日導入・供用開始されました。
(2021年1/22付 公明新聞に掲載)



Wi-Fi 設置

実現しました!

昨年6月の定例会で、避難所での情報手段としてWi-Fiの設置を要望。公民館(矢田コミュニティ会館含む)と、小中学校の体育館には各2箇所設置されることになりました。



2021年度予算要望書提出
コロナ対策・防災対策・教育環境の充実等
全143項目に渡り、要望・提案しました。

ご意見・ご要望をお聞かせ下さい 携帯 090-4038-6491

ホームページはこちら

かわだ和美

検索

